

令和5年度(2023年度) 熊本県教育功労(優秀教職員)表彰受賞者功績概要

【教職員】マスター部門(49歳以上)

No.	学校名 氏名	功績の概要
1	山鹿市立三玉小学校 青木 江里	<p>●スーパーティーチャー(道徳教育)としての優れた指導力 道徳教育に優れた指導力を発揮し、子どもたちが自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める授業実践を積み重ねている。これまで道徳の授業づくりを研究し、各学校で研究主任を務めるとともに、山鹿市教育会道徳部会の中心的存在として、多くの授業を公開するなど、優れた道徳教育の取組を進めてきた。令和4年度に指導教諭となり、現任校の道徳教育の推進に尽力するとともに、他校の校内研修や各種研修会の講師を務めている。また、県教育委員会の道徳教育リーフレット作成委員を務めるなど、県全体に道徳の教育実践を広げている。</p>
2	菊陽町立武蔵ヶ丘小学校 平木 雅美	<p>●健康教育について優れた指導力 長年、不登校及び不登校傾向の児童生徒の指導に力を尽くしてきた。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と連携を密にし、児童生徒並びに保護者と良好な信頼関係を築き、改善・解消に向けた取組を継続している。平成30年度に熊本県立教育センターの専門研修「養護教諭キャリアアップ研修」の講師、令和3年度から令和5年度まで基本研修「新規採用養護教諭研修」の講師として、養護教諭の人材育成に寄与している。さらに、熊本県養護教諭研究会にも携わり、県内の健康教育の推進にも尽力した。</p>
3	西原村立山西小学校 中川 美穂	<p>●特別支援教育を中心に優れた指導力 特別支援教育について熱心に研究と実践に取り組み、熊本県教育センターの特別支援学級新任担当者研修会で3回にわたって実践報告者を務め、特別支援教育に関する理解の促進に貢献した。九州地区特別支援教育研究会での実践報告や熊本県特別支援教育研究会「コーディネーターの役割」部会実践報告を通して、県内外における特別支援教育の充実に関与した。現任校の特別支援教育コーディネーターとして推進体制の充実を進め、令和4年度の通級指導教室開設のための条件・環境整備に尽力した。また、教務主任として学力向上と教職員の実践的指導力の向上に取り組んでいる。</p>
4	嘉島町立嘉島西小学校 上村 聡	<p>●人権教育に根ざした学級経営及び人材育成 学級づくりのベースに「子供たちの将来に生きて働く力を高めること」「被差別の側に立つ子供の思いに寄り添うこと」「仲間とつながること」等の人権教育を中心に据えた学級経営に取り組み、数々の学級・学年を「気付き、考え、行動できる集団」へと変貌させた。また、教職員をきめ細かくサポートし、特に人権旬間や人権教育レポートにおいては、目的や方法から内容に至るまで、教職員がわかるまで懇切丁寧に教えている。自分が身に付けた授業のスキルを惜しげもなく伝えたり、一緒に悩みを聞きつつも「教職員としてやるべきこと」を教えたりと、後進の人材育成に取組を重ねている。</p>
5	人吉市立人吉東小学校 瓜生 由美子	<p>●健康教育、食育に優れた指導力 令和2年度、3年度熊本県栄養教諭・学校栄養職員研究会理事長を務め、各種研修会の講師及び実践発表により熊本県下で指導的役割を果たしている。地産地消を掲げ、新鮮で栄養価の高い食材を積極的に取り入れ、地元の農産物の消費に貢献し、おいしく安全・安心な学校給食の提供に努めている。また、保護者への望ましい食習慣の定着に向けた啓発、食物アレルギーをもつ児童生徒への個別的な指導を行うとともに、日本栄養士災害支援チームに所属し、各県の行政栄養士と連携して災害時の被災者に対し食事支援活動に取り組んでおり、専門性の高さを生かした地域貢献をしている。</p>
6	天草市立栖本小学校 海内 留美子	<p>●英語教育と小中連携を中心に各教科指導に優れた指導力 文部科学省及び独立行政法人教員研修センターの小学校英語活動研修講座を代表で受講して復講したり、学力充実研究発表会で複数回の国語科公開授業などの経験を生かしたりして、現任校でも継続的な取組を続けている。また、研究主任として、小中連携では、児童会生徒会と一緒に取り組む活動や乗り入れ授業等の研究を行い推進した。令和4年度天草郡市道徳教育授業実践研修会でも小学校代表で公開授業を行った。意欲的に授業改善に取り組む姿勢は、職員の資質・能力の向上にも大きく寄与している。</p>

【教職員】マスター部門(49歳以上)

No.	学校名 氏名	功績の概要
7	宇城市立松橋中学校 本村 栄朗	●学年主任としての優れた指導力 リーダーシップと指導力、人情味あふれる人間性を評価され、24年間にわたり学年主任を務め、学校運営に大きく貢献してきた。熊本県中央児童相談所に出向し、生徒指導上の課題や家庭的に厳しい状況がある児童生徒に積極的に関わり、更生に導いた経験を生かし、生徒間のトラブルや不登校対応等、学年職員に適切な指示をしたり、自ら行動したりと課題解決に向け尽力している。また、人材育成の視点を重視し、親身になって学年職員に関わり、結束力のある協力し学びあう職員集団を作っている。これらの優れた実践は、宇城教育事務所の「宇城教育～実践と指向～」のベテラン教師に学ぶで紹介され高い評価を受けた。
8	八代市立第一中学校 藤本 知佳子	●スーパーティーチャー(数学)としての優れた指導力 新型コロナウイルス感染症による休校等の際に、タブレットを活用して授業内容を動画作成し発信するとともに、学習状況をオンラインで確認しながら添削等を行い学力向上の取組を継続し、全国学力・学習状況調査の数学で全国平均を大きく上回るなどの成果をあげた。情報教育に関しても、ICT活用の具体的取組事例を市内各校に向けて発信し、情報教育の推進に大きく寄与した。令和4年に熊本県教育委員会指定「熊本の学び」研究指定校学力向上プロジェクト研究実践発表会において、ICTを活用した授業実践等の発表を行った。また、スーパーティーチャーとして、他校の校内研修指導助言、授業公開及び研究会の実施等を行った。
9	水俣市立水俣第一中学校 松本 広隆	●優れた指導力、学校の中核としてのリーダーシップ 長きにわたり教務主任を務め、広い視野を持って学校全体の課題把握、課題解決に取り組んでいる。学校の中核として、豊富な経験をもとに職員への適切な指導・助言を行い、人材育成の面においても力を発揮している。中学校教育研究会理科部会では、2大会連続で授業者を務めるなど、郡市小中学校理科教育研究会の運営にあたり、郡市の理科教育を牽引しながら優れた実践を行っている。校内においても、熊本の学び推進プランや芦北管内統一事項にもとづく「みなまた学習」による授業改善に積極的に取り組み、成果をあげている。
10	熊本県立宇土中学校・宇土高等学校 永吉 与志一	●探究活動に優れた指導力 平成30年度から文部科学省指定の「スーパーサイエンスハイスクール」事業のGS(グローバル・サイエンス)研究主任を務め、全生徒が取り組む探究活動を全職員で指導・支援する体制づくりに尽力した。特に令和2年度から毎年、探究活動のプロセス、研究課題の設定、研究計画、発表の技法などを教授する探究の手引き書「GS本」を編纂している。本校では、この手引き書により、生徒の課題研究に対する主体的な取組が促進され、質の向上につながった。また、本校の「問いを創る」学びのけん引者として貢献度は非常に高い。
11	熊本県立熊本北高等学校 井澤 俊樹	●個に応じた進路指導における優れた指導力 進路指導主事として、生徒の意欲喚起からキャリア教育まで指導しており、職員との対話を欠かさず指導力を発揮し、綿密な計画のもと企画運営を行った。特に本校における進路指導体制の充実に向けてリーダーとしての力量を発揮し、大学進学実績をあげてきた。また、高校入学当初におけるキャリアを見据えての進路指導から、個々の目標に照らし合わせた3年次の進路指導において、的確な情報を担任及び生徒に提供するなど、校内の進路指導の充実貢献した。その結果、100名を超える国公立大学や多数の難関私立大学への合格実績につなげるなど、懇切丁寧な指導を実践している。
12	熊本県立南稜高等学校 鉄島 眞美	●地域の福祉を支える人材育成 教科「福祉」の教科担当として、これまでの経験と実績を生かしながら、地域の福祉を支える人材育成に熱心に取り組んでいる。介護職員初任者研修修了者資格では、地域の関係機関と綿密に連携を取りながら、計画的な取組で多くの生徒が資格取得を達成した。また、授業の一環として、新型コロナウイルス感染症の対応で大変な医療、福祉現場の人たちへの応援の気持ちを表したいとフラワーボックスを作製、寄贈し感謝された。また、ボランティア部顧問としても、令和2年7月豪雨災害においても、いち早くボランティア活動を呼びかけ、多くの生徒が参加するなど地域復興を支援した。

【教職員】フレッシュ・キャリア部門(48歳以下)

No.	学校名 氏名	功績の概要
1	荒尾市立中央小学校 龍 寛喜	●小学校体育指導に優れた指導力 体育科を中心に研究を進め、体育主任として多くの実践を積んでいる。昨年度は、県教育委員会指定「学校体育」研究推進校として、体育主任の立場で中心的役割を果たし、提案授業を行い研究を牽引した。県教育委員会の「小学校体育指導の手引き」の作成委員としても携わり、今年度は体育・保健体育指導力向上研修(西部ブロック)に県代表として参加し、県の研修会の講師として復講するなど、幅広く活躍している。また、菊池教育事務所の「きくちの風」推進事業においても、授業を率先して公開したり、研修会や研究発表会に進んで参加するなど、大変研究熱心である。
2	玉名市立築山小学校 小松 元樹	●生徒指導と体育科教育に優れた指導力 生徒指導で課題のある児童や家庭環境が複雑な児童等に対して、それぞれ児童の気持ちや立場を丁寧にくみ取りながら個を大切に学級経営に当たり、小さなことから段階的に互いに認め合い、支え合う学級づくりを行っている。体育指導においては、「単元のゴールの姿」を見据えた授業づくりや「体育における資質・能力の育成」に向け、教材研究や体育の授業で活用する教具づくり等を積極的に行っている。また、児童の主体性を大切に体育委員会の運営に心がけ、全校児童が参加できる体育イベントを積極的に実施している。
3	山鹿市立山鹿小学校 前田 理恵	●算数科・生徒指導に優れた指導力 実践的指導力が高く、学習指導・生徒指導に優れた力を発揮している。特に算数科教育では、これまで勤務した学校において研究主任を努め、本質を捉えた指導について充実した研修を企画、実施し、学力向上に向けて熱心に取り組んできた。山鹿市教育会算数部会の研究部長を務め、山鹿市の算数科教育の向上を図っている。熊本県算数研究発表会では代表授業者、実践報告者等を行い、県の算数科教育をリードする存在である。また、マネジメント力が高く、勤務校において学年主任を務め、児童への的確な指導を基に児童の成長を促すとともに、学年部の職員をまとめ、機能的な組織を作り上げている。
4	菊池市立花房小学校 竹津 祐也	●社会科を中心とした優れた指導力 社会科を中心に熱意をもって教科指導に取り組み、学習課題の工夫で児童の学習意欲を高めるとともに主体的・対話的な授業づくりの推進に努めている。社会科においては地域素材を活かした課題設定を行い、学びを広げ深めていく学習ツールとしてICT機器を効果的に活用する取組を行っている。また、体育科においても公開授業や実践発表等を行い、地域のリーダーとして活躍している。学校においては、教務主任と担任を兼務しており、学校の中心的存在である。学級経営、生徒指導においても指導力に優れており、児童・保護者からの信頼が厚い。
5	御船町立御船小学校 酒井 優子	●英語科を中心とした優れた指導力 平成26年度から現在まで4小学校で文部科学省指定「教育課程特例校(英語科)」の取組を経験し、研究主任を務めるなど、勤務した地域や学校の英語教育の推進役を担ってきた。また、令和2年度から令和4年度まで上益城郡教科等研究会小学校外国語部会の研究委員長を務め、令和5年度からは理事を務めている。今年度は、熊本県英語授業づくりプロジェクトのリーダーとして、管内の外国語教育に係る課題等の解決に向けて、協働的に学び合う研修全体を主導している。英語科を中心とした研究的実践・実践的研究に優れた指導力を身に付けている。
6	山都町立矢部小学校 三嶋 剛正	●特別支援教育を中心とした優れた指導力 特別支援教育コーディネーターとして、深い教育的愛情と高い使命感を持ち、児童の特性に応じた合理的配慮を行い、自立に向けた支援と個に応じた指導の充実を図っている。児童・保護者への丁寧な指導・支援と職員への助言は、職務に誠実に向き合う姿勢もあって、全幅の信頼を得ており、職員の資質向上に大きく寄与している。町特別支援教育リーダーコーディネーターとしても力を発揮し、町全体の特別支援教育を牽引している。また、これまでの勤務経験や道徳教育、社会科教育での豊富な授業実践を生かし、幅広い視野で学習指導、生徒指導等を行っている。

【教職員】フレッシュ・キャリア部門(48歳以下)

No.	学校名 氏名	功績の概要
7	八代市立太田郷小学校 田崎 賢治	●体育科における優れた指導力 文部科学省主催の令和4年度体育・保健体育指導力向上研修(西部ブロック)を受講し、同年度に開催された県主催の研修会において講師を務めるなど、教科における実践を積み重ねてきた。令和4年度より八代小学校体育連盟の理事長を務めており、八代管内の小体連主催の行事等の実施を通して、管内の小学生の体力の向上を図ってきた。令和5年度には、県教育委員会の事業である子供の体力向上推進委員会の委員の委嘱を受け、本県における体力・運動能力調査結果の分析やPDCAサイクルに基づいた実践事例を県内の各学校に周知することに寄与している。
8	津奈木町立津奈木小学校 山内 泰子	●児童理解を基盤にした学級経営と生徒指導 県教育委員会及び芦北教育事務所取組の方向、町教育委員会の教育構想等を理解し、学校の課題解決に真摯に向き合い、日々の教育実践に誠実に取り組んでいる。学級経営が困難な状況に陥った学級を率先して担当し、児童理解に基づく生徒指導と保護者対応を丁寧に実践することで立て直しており、職員や保護者の信頼を得ている。また、芦北・水俣学力向上対策委員会委員を4年間務め、「管内統一実践事項(家庭学習編)」等の作成や普及啓発を図り、芦北管内の小中学校の学力向上に寄与するとともに、自らの実践を町教育論文に応募し、高い評価を得ている。
9	多良木町立多良木小学校 橋本 真実	●理科を中心とした優れた指導力 理科の専任教員として、児童が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって学習に取り組むことができるよう努めている。教材研究と事前準備を徹底し、児童の学ぶ意欲を喚起し、問題を科学的に解決していく学習活動の充実を図っている。また、可能な限り児童に実験・観察を行わせて実物に触れさせる努力を行うとともに、プログラミング教育にも積極的に取り組んでいる。令和4年度全国学力・学習状況調査や標準学力検査では、県平均及び全国平均を上回り、学力面での成果もあげている。さらに、県立教育センター科学展事業に係る研究協力校担当者を務めるなど、管内の理科教育におけるリーダー的存在の1人でもある。
10	天草市立佐伊津小学校 野島 あんぬ	●スーパーティーチャー(特別支援教育)としての優れた指導力 通級指導教室担当や特別支援学級担任として、専門的な知識や技能の習得に努め、児童の育成のみならず特別支援学級に関わる職員の人材育成に寄与してきた。特別支援教育コーディネーターとして通常学級担任等と交流学习や共同学習においての共通理解事項を確認したり、全ての児童への支援につながる必要なアドバイスをしたりして連携を行い、児童・保護者の思いに寄り添った指導・支援を行っている。指導教諭として管内の各研修会等の講師を務めるほか、管内の小中学校で特別支援学級を担任する教員へ授業を公開し、授業づくりや基礎的環境整備について指導・支援を行っている。
11	上天草市立今津小学校 西本 亮	●児童の主体性を生かした学習指導 児童が共感的に話を聞き、自分の考えをしっかりともち、伝えあう授業スタイルを確立している。また、学級経営や学習指導等について、他の教職員への助言を積極的に行い、学力向上に寄与している。令和4・5年度上天草市教育委員会指定「生きる力推進事業モデル校」、令和4・5年度県教育委員会指定「人権教育の指導方法等の工夫・改善実践協力校」の研究主任として優れたリーダーシップを発揮している。校内の研究授業だけでなく、令和3年度上天草市学力充実担当者研修会、令和4年度上天草部会6年部門の授業者を務めるなど、上天草市の学力充実に主導的な役割を果たしている。
12	苓北町立坂瀬川小学校 桑畑 幸子	●学習規律、学びのルール等の徹底を中心とした優れた指導力 すべての子供を大切にしたい教育的愛情と人権感覚をもち、児童が安心して生活できる学級経営を行っている。学習指導に生徒指導をうまく融合させ、児童の学習規律、学びのルール等徹底があり、教材分析や授業構成を深く行う力がある。令和4年度には、「熊本の学び」に基づく主体的・対話的で深い学びとなる児童主体の授業実現を目指し、苓北町教育委員会「学力向上研究推進校」指定で国語科の研究成果を天草管内に広く発表・啓発し研究主任として力を発揮した。また、令和5年度熊本県道徳教育研究会天草大会において授業者として研究推進に関わっている。

【教職員】フレッシュ・キャリア部門(48歳以下)

No.	学校名 氏名	功績の概要
13	宇土市立網田中学校 中川 圭絵	●美術科及び学年(学級)経営に優れた指導力 地域の良さを再発見できる題材を取り入れ、地域との関わりを大事にした指導を行っている。また、兼務小学校5・6年生の図画工作科を担当し、より専門的な指導に努めている。令和4年度熊本県図画工作・美術教育研究会では中学3年生の公開授業を行い、宇城美術部会の実技研修講師として管内美術担当者への指導にも取り組むなど県内の美術教育向上に尽力している。また、中学1年生の学年主任として、担任のサポートや生徒支援に積極的に取り組むなど、学年担当者全員で生徒を育もうという意識が強く、生徒集団の絆をより強いものになるような取組を実践している。
14	宇城市立不知火中学校 前田 兼吾	●生徒指導、学級経営に優れた指導力 宇城管内外で生徒指導主事を務め、生徒、保護者に寄り添い、深い信頼関係を構築し、教育的愛情を持った指導により、在籍校に止まらず管内全体の生徒指導に寄与している。また、学級経営では、卓越した指導力で誰一人取り残すことなく生徒一人一人の心身の伸長を図り、生徒、保護者の絶大な信頼を得ている。学校の中核として、積極的に学校運営に参画しており、教科指導では、ICTの有効活用により学力向上に貢献している。バスケットボール部の活動においても技術的な指導のみならず人間性の伸長を目指した指導には定評がある。
15	荒尾市立荒尾第四中学校 酒井 剛	●生徒指導と体育科教育に優れた指導力 生徒指導では、信頼関係に基づいた是々非々の指導により、自己の可能性に気づき、伸ばすための活気とけじめのある学校づくりに取り組んできた。また、関係機関と連携し、多様な背景を持つ生徒や保護者一人一人に寄り添う指導や支援を継続して行うことで、自律した学校生活や進路保障につなげることができた。体育科教育に関しては、玉名荒尾中学校体育研究会理事長を4年間務めるとともに県の役員も兼務し、昨年度からは競技部長を務め、関係機関との連絡調整や生徒の健全育成に寄与するとともに、若手の人材育成にも取り組んでいる。
16	西原村立西原中学校 渡邊 慎一郎	●学校事務に優れた指導力 管理職や他の教職員との適切な業務連携のもと、専門性を生かして積極的に経営的発想のもと運営に参画している。事務分野、予算等で職員からの相談事も多く、より良い協働体制を築いている。学校事務の共同実施では長年主任を務め、学校事務センターではグループ長として組織の活性化、若手の育成、市町村教育委員会との連携等において、力を発揮してきた。教育事務所事務職員として勤務した時には、学校訪問等をとおして若手事務職員の指導に当たり、人材育成に貢献した。令和元年度から2年間、阿蘇郡市教育研究会学校事務職員部会長を務め、学校事務職員の能力向上に努めた。
17	阿蘇市立一の宮中学校 田嶋 智成	●数学科教育を中心とした優れた指導力 数学の実践研究に積極的に取り組み、阿蘇管内数学科教育の中心的存在として活躍している。九州算数・数学研究大会の実践報告や熊本県中学校数学教育研究大会での授業実践を行い、県全体の数学科教育推進と充実に向けて力を発揮している。近年は学力の実態把握と分析による「対話活動」を中心とした授業改善や実践研究に取り組むとともに、阿蘇郡市数学部会の研究部長(県研究員)も務め数学の学力向上に向けて活躍している。若手育成の視点も持ち、スーパーティーチャーと連携した授業研究を管内教科研究会で実践として提供し改善内容を指導する等、後進の育成に貢献している。
18	益城町立益城中学校 武田 雅裕	●生活指導と学習指導で範を示す教育実践 生徒指導主事として、自ら生徒指導の実践を重ね他の職員に模範を示してきた。その成果として、生徒指導が困難な状況が見られた学校に落ち着きを感じられるようになった。他の職員を動かし、生徒指導が組織として機能するようになると、生徒の問題行動が減り、生徒会活動等で善行の模範を示す生徒が増えてきた。また、授業が最大の生徒指導の場であるということを示すため、授業研究と実践にも余念がなく、上益城郡や県の研究会で自身の授業実践を他校に広めている。最近では、楽しさを味わう長距離走の授業研究に大学と共同で取り組んでいる。

【教職員】フレッシュ・キャリア部門(48歳以下)

No.	学校名 氏名	功績の概要
19	熊本県立鹿本高等学校 中川 太志	<p>●生徒が主体の行事の運営と外部連携による学校魅力化づくり</p> <p>平成30年度に赴任後、これまで教師主導であった体育祭、文化祭等の学校行事を生徒主導型に改革し、生徒のやる気や達成感の醸成につながった。また、令和元年度の学科改編により創設された、みらい創造科スポーツ健康科学コースの教育プログラム開発の中心的な役割を担い、外部連携の幅を広げ、本校魅力化に大きく貢献した。令和3年度に文部科学省指定「スーパーサイエンスハイスクール」においても、保健体育科の教職員として積極的にに関わり、ICT機器を効果的に活用した探究型の授業実践やクロスカリキュラムの実践を行う等、本校が掲げる教育目標の具現化に中心となって取り組んでいる。</p>
20	熊本県立八代農業高等学校 平田 哲明	<p>●果樹栽培並びに農業鑑定競技指導において優れた指導力</p> <p>果樹担当として、果樹農家の課題であった夏場の収入源としてブドウ栽培に着目し、生徒と共に栽培技術の確立と普及活動に取り組み、果樹農家の経営安定に貢献しており、果樹農家として活躍する卒業生を輩出するなど、担い手不足の解決にも熱心に取り組んでいる。平成26年には世界一大きい晩白柚を栽培しギネスブックに掲載されるなど指導力や技術力には卓越したものがある。また、日本学校農業クラブ連盟主催の農業鑑定競技の指導にも熱心に取り組み、平成23年度より毎年全国大会出場へ生徒達を導き上位入賞を果たしており、本校のみならず熊本県農業関係高等学校の地位の確立に貢献している。</p>
21	熊本県立芦北高等学校 前島 和也	<p>●林業教育を中心に森林及び環境保全教育に優れた指導力</p> <p>生徒が主体となりグループ毎に林業や環境に関する課題を設定し、解決に取り組むプロジェクト学習などを推進してきた。林業教育で「地域とともに森を育て川と海を育む」をテーマに関係機関と連携して、様々な研究活動に取り組んでいる。特にアマモの再生活動に関する研究は、大学や企業などの研究者からも高く評価され、数々の賞を受賞した。21年目となる研究成果については11月に東京で開催されるアマモサミット国際会議で、生徒が英語により発表を行う。このような主体的・対話的な学習スタイルで学んだ生徒が林業関係の公務員等となるなど、日本の森林・林業と国土を守り、全国各地で活躍する人材を輩出している。</p>
22	熊本県立天草拓心高等学校 山田 淳	<p>●水産科教育を中心とした優れた指導力</p> <p>生徒の実態に応じた学習教材を作成し、達成感や学習意欲を高め、主体的、対話的で深い学びにつながる授業づくりに努めている。大型船の船長資格である海技士資格の取得に向けて、学年を問わず学習講座を開講し、多くの生徒が合格しており、年々参加者が増えて海運業や水産業で活躍する人材の育成に大きく貢献してきた。令和2・3年度に国立教育政策研究所指定校として「水産・海洋の諸課題を解決するための学習・指導方法及び評価方法の工夫改善研究」に取り組み、県下のみならず、全国の水産・海洋系高等学校に向けて授業実践を配信し、ICTを活用した指導方法について提案し高い評価を得た。</p>

【教職員組織】

No.	教職員組織名	功績の概要
1	西原村学校保健会 (西原村立西原中学校、西原村立山西小学校、西原村立河原小学校)	<p>●熊本地震を契機とした心のケア活動への継続的な取組</p> <p>平成28年4月に発生した熊本地震発災直後から、被災した児童、生徒をはじめ、保護者、地域住民、教職員への心のケアなど様々な取組により被災者の心情に寄り添った継続的な支援活動を行ってきた。現在も熊本地震の心的ストレス把握のための「心と体のアンケート」の継続的な実施とともに、新型コロナウイルスや他の災害等による心のケアを要する児童、生徒の把握、接し方、声のかけ方など、職員への具体的な指導助言等を行っている。さらに、生活習慣の乱れ、食育等に焦点をあて基本的生活習慣等についての児童、生徒への指導、保護者への啓発等にも取り組んでいる。</p>
2	氷川町立竜北西部小学校教職員一同	<p>●ICTの効果的活用による学力向上</p> <p>氷川町全5校が熊本県教育委員会の指定を受け連携してICTの効果的活用をめざして研究に取り組んできた。本校は「くまもとGIGAスクールプロジェクト拠点地域」の中心校の指定を受け、ICTを効果的に活用した授業改善や教師の指導力向上を進めてきたことにより、成果をあげている。令和4年度熊本県学力・学習状況調査では、6年生算数が全国平均を2.7ポイント上回り、また6年生国語は昨年比5.6ポイント上昇した。また、コロナ禍の際にも、「学びを止めない・学びを深めるオンライン授業」に率先して取り組み、令和3年度には日本教育工学会学校情報化優良校に認定され、令和4年度は熊本県ICTコンテストで最優秀賞を受賞している。</p>
3	五木村立五木中学校教職員一同	<p>●地域の特色を生かした教育課程の編成と地域・関係機関等との連携・協働</p> <p>五木村の歴史や文化、へき地・小規模校の特性を生かした教育課程を編成し、全職員による五木中学校グランドデザインの作成及び生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメントの推進を図っている。令和2年度からは新聞を活用したNIE教育に取り組むとともに、生徒が持続可能な村づくりについて考える租税教育を中核に置いた主権者教育、五木村の伝統農法である「焼畑」等に行政及び関係団体と連携して取り組むことで、生徒の主体性、表現力が高まっている。さらに、保育園、小学校から本校までの連続した英語教育が行われており、高い英語力を身に付けた生徒を育成している。</p>
4	天草市立本渡南小学校教職員一同	<p>●能動的に学び続ける力の継続的な育成</p> <p>「実現したい学びの姿を明確にすること」「自らの学びの姿を自覚すること」を、全職員・全児童で共有しながら、児童主体の授業改善を進めてきた。また、学力向上、授業改善を支えるものとして、学級の課題を解決する学級力向上プロジェクトに加え、改善の推進力としての「ICTの効果的な活用」についても全校的に取り組んできた。これらの取組により、児童自身による学びの最適化、教師による指導の個別化が進み、自ら課題を立て、より良い方法で解決しようとする児童の姿が増えてきた。県学力・学習状況調査等でも良好な成績を残している。</p>
5	熊本県立東稜高等学校研究企画兼情報管理部	<p>●生徒と取り組む情報モラル教育</p> <p>生徒の「家庭学習時間・スマホ使用時間の調査」を実施し、学習時間不足とスマホ使用時間の過多、体調不良や学力不振が課題となった。このため、学期ごとに「スマホダイエット」期間と年1回「スマホ利用適正化啓発活動」期間を設定し、生徒が利用時間を自己管理できるよう取り組んだ。アンケート調査により生徒個々の取組状況を把握し、教職員で指導に役立てた。また、風紀委員会、図書委員会、保健委員会等が連携して「スマホダイエット」の説明会、書籍紹介、ポスター掲示を行い、生徒主体の活動が学校全体の意識向上につながった。さらに、教職員がミニ新聞を生徒及び保護者へ配付し啓発を促した。これらの活動により令和3年度には第17回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」で文部科学大臣賞、令和4年度に文部科学大臣優秀教職員組織表彰を受賞している。</p>